

製品名: TIA1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87241**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.15mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:500-1:2000,ICC/IF 1:500-1:1000,FC 1:200-1:500,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:43 kDa; Observed MW:43 kDa

抗原情報

遺伝子名	TIA1
別名	WDM; TIA-1
遺伝子 ID	7072
SwissProt ID	P31483
免疫原	ヒト TIA1 の合成ペプチド

背景

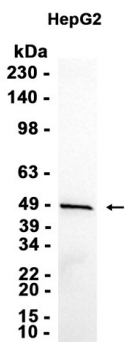
この遺伝子によってコードされる産物は RNA 結合タンパク質ファミリーに属し、細胞傷害性リンパ球（CTL）標的細胞に対して核酸

分解活性を有する。このタンパク質はポリ(A)ホモポリマーを優先的に認識し、CTL 標的細胞において DNA 断片化を誘導するため、アポトーシス誘導に関与する可能性があることが示唆されている。主要な顆粒関連タンパク質は 15kDa のタンパク質であり、これは 40kDa 産物のカルボキシル末端からタンパク質分解によって生成されと考えられている。この遺伝子には、選択的スプライシングによって異なるアイソフォームが形成されることが確認されている。[RefSeq 提供、2017 年 5 月]

研究分野

-

画像データ



TIA1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HepG2 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。